

地域とともにある

勢いのある学校

No. 22 (R2. 10. 21発行) 文責 校長 福田雅也

高き志【こころざし】

いっしゅうけんめい

一生懸命はカッコいい

こんかい がっこうだより とくべつごう うんどうかい まえ ねんせい むけて かく
今回の学校便りは特別号です。運動会を前にした6年生に向けて書くことにしたからです。

いよいよ24日に運動会を迎えます。6年生の皆さんは当日に向け、自分たちの練習だけではなく、下級生をまとめ、引っ張っていくことにも一生懸命に取り組んできました。その姿はとても立派でした。それだけに、当日までにもう一段階レベルを上げ、気持ちを高めて、当日を迎えてほしいと思っています。そこで、私から一つ、言葉を贈りたいと思います。

「一生懸命はカッコいい」

この言葉は、以前校長として勤務した学校で、運動会を終えた6年生に私が贈った言葉です。その時の運動会でしっかり頑張った6年生の姿は、本当に素晴らしく、心から「カッコいい」と感じたので、この言葉を使って6年生を讃えたのです。

今の時代、一生懸命にやることをバカにするような風潮があると思います。運動会での姿をとおして、高木小学校の6年生が、そんな風潮を吹飛ばしてほしいと思うのです。では、一生懸命にやることの意味をちょっと考えてみましょう。

- 一生懸命にやることで自分の力を確実に伸ばすことができる。
 - 一生懸命にやることで、勝負に負けたとしても得るものがある。
 - 一生懸命にやったものにしか味わえない気持ちが味わえる。
 - 一生懸命の後ろ姿は周り(低学年)を動かす。
 - 一生懸命は感動につながる。
- そして……一生懸命はカッコいい。

このようなことが考えられるかなと思います。この学校便りを読んで、少しでも6年生の皆さんのやる気や意識が高まってくれたら幸いです。皆さんの当日の姿に期待しています。

保護者の皆様へ…コロナ禍の中、6年生が最上級生として力を伸ばせる機会がなくなっています。今回の運動会は、もしかすると本年度唯一の全校的な行事になるかもしれません。それだけに、この貴重な機会をとおして6年生に成長してもらいたいと願っているのです。それは、きっと私だけの願いではなく、本校の職員、そして6年生の保護者の皆様の願いでもあると思います。

1位になったからカッコいいのではなく、勝ったからカッコいいのではなく、うまくできたからカッコいいのではなく、一生懸命がカッコいいのです！